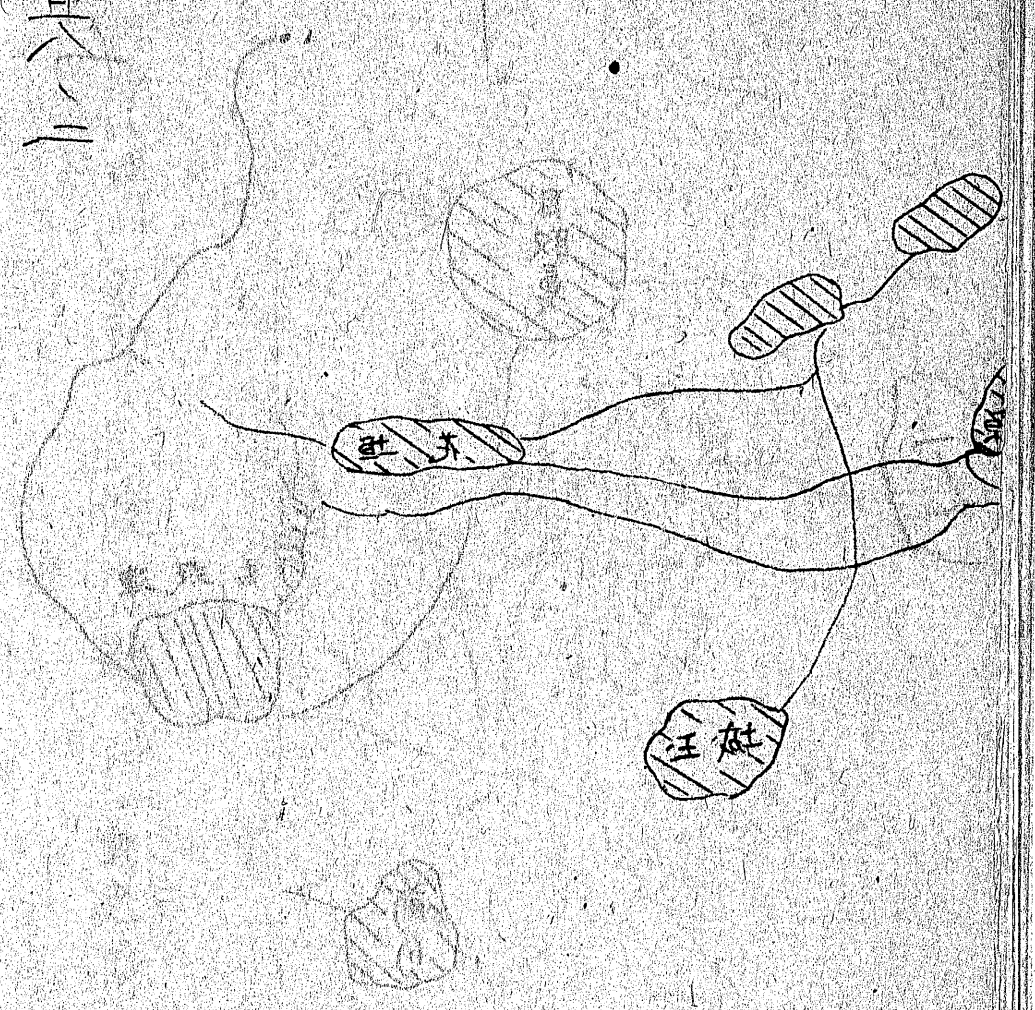


四月十八日

要圖其一二



4. 四月九日久保守隊ハ原隊ニ復歸シ引續キ糸敷東方慶良原ニ於テ
 垣花方面ヨリ攻撃ヲ予想スル敵ニ対シ中隊、第一線トシテ陣地構築
 補修並ニ戰車障壁施設ノ設置ニ努メタリ

5. 四月十八日牛上隊原隊ニ復歸シ引續キ中隊陣地構築ヲ補強並ニ警備
 ニ任ス

6. 四月二十四日一ヶ小隊(吉田隊)第六歩兵隊ヲ援護スヘキ依田命令ニ其全
 中隊ノ隷下ヲ離レ同隊ノ指揮下ニ入ル可ク同夜與邦原ニ向ヒ轉進ス

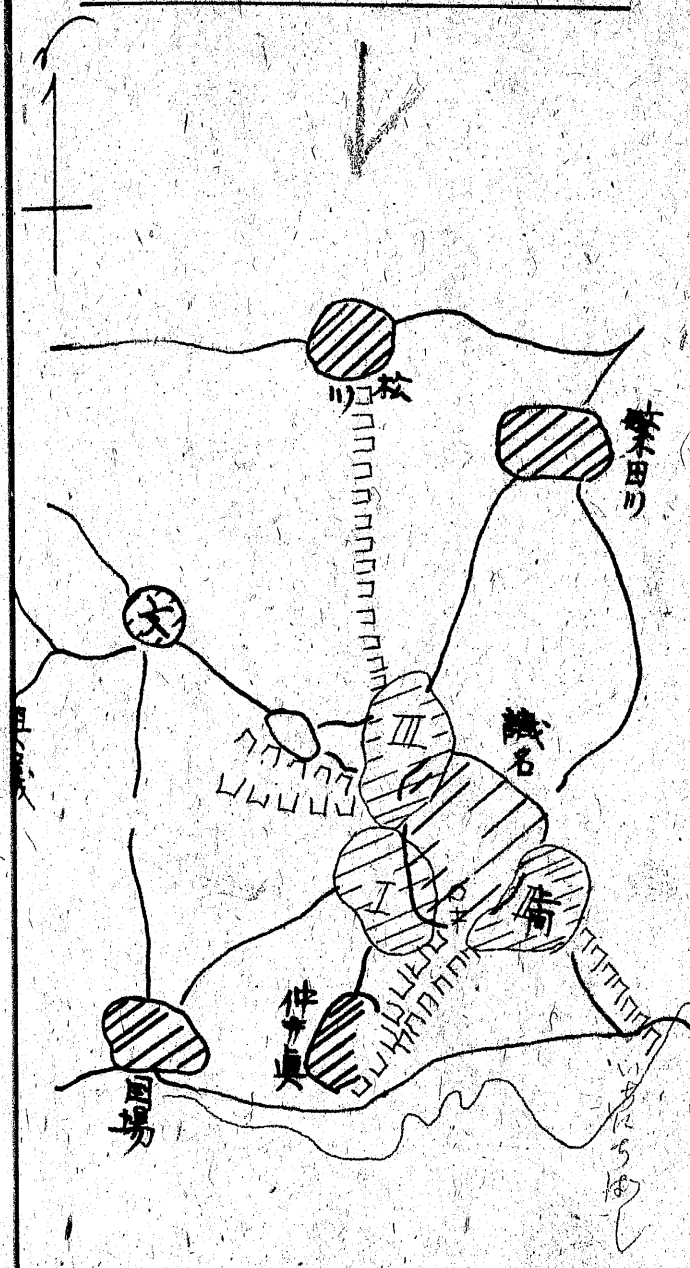
四戰闘經過ノ概要 其ノ三 自五月一日 至五月六日

要圖別紙其ノ三

1. 五月一日新作戦ノ爲中隊ハ機名ニ轉進ノ命ヲ受テ同夜機名ニ向ヒ
 轉進ス
2. 五月二日吉田隊ニ機名ニテ標隊ニ歸シ全員ノ志氣多クニ擧ル
3. 五月二日軍ハ五月四日ヲ期シテ攻勢ヲ轉スルニ決シ其レニ關スル命令ヲ受領ス

4. 五月四日中隊は道里北方一二〇〇高地附近に進出し旅団司令部を援護
 スハキ命令ヲ受ケタルヲ以テ進出シ待期シアリカ不幸第二十四師団攻
 撃不成功トナリシタメ遂ニ前線整備ノ命ニ依リ職名ニ後退ス
 5. 五月四日中隊ハ一五〇高地ニ於テ最初ノ犧牲者數名ノ重傷者有ラ出リ
 6. 五月五日職名ノ線ニ配備ニ就キ晝一夜兼行陣地構築戰車障壁ノ施設
 ニ任シ戦力ノ増強ニ努メタリ

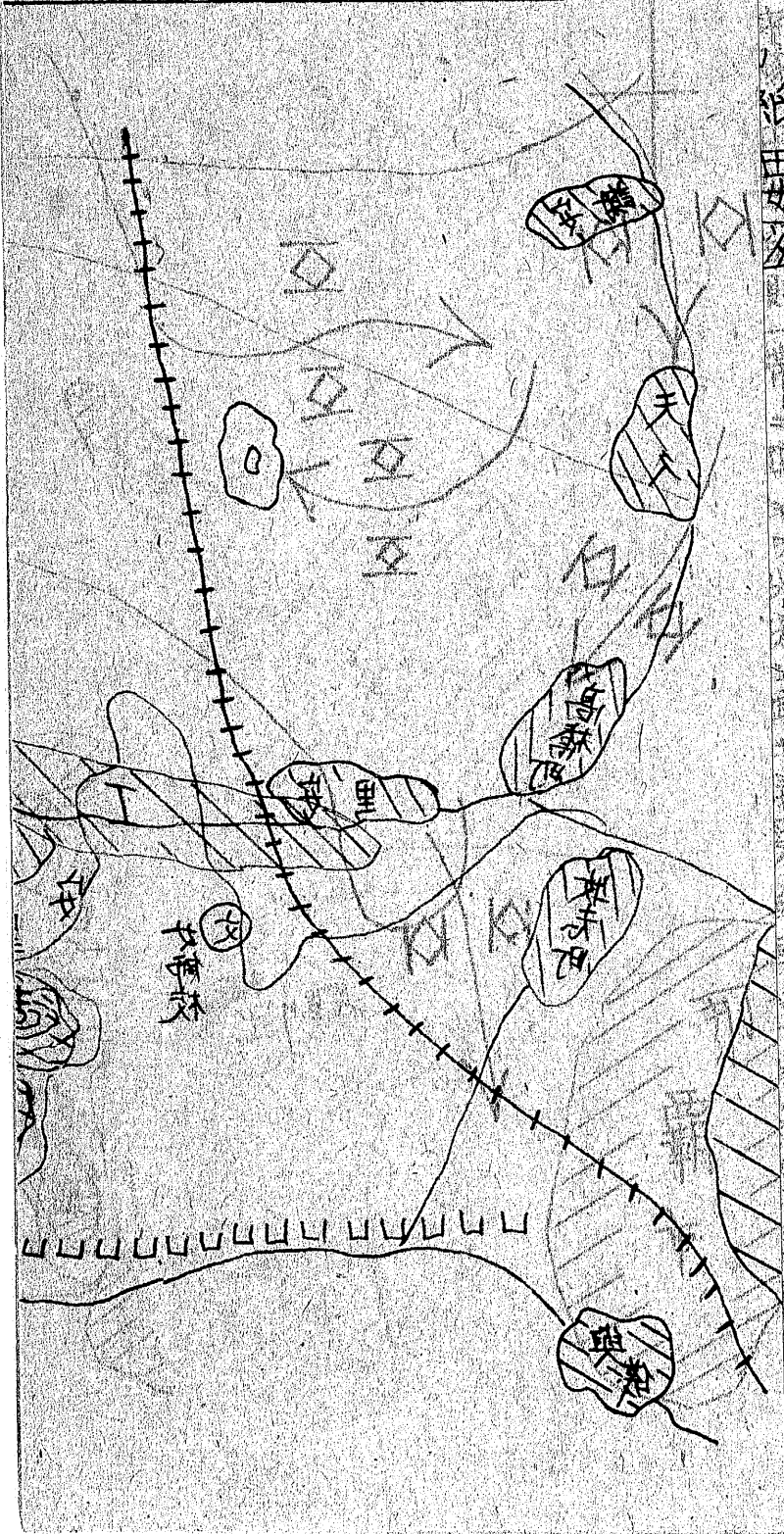
三、其 圖 要
 團 要 備 配 在 現 日 五 月 五



五 戰 闘 経 過 ノ 概 要 其 四
 自 五 月 七 日 至 五 月 十 日

- 要 図 別 紙 其 四
1. 五月七日一ヶ小隊(汝保騎隊)ハ旅団命令ニ基キ安里ノ松川繁田川ノ線ニ至リ戰車攻撃ヲ命ヲ受ケ同夜轉進夫々配備ニ附キ工事諸施設設置ニ努メタリ
 2. 爾後中隊編成ヲ指揮班及四ヶ小隊編成トシ一ヶ小隊ヲ三ヶ分隊ニ編成トナセリ
 尚他部隊ヨリ將校梅津少尉一名補充ヲ受ケ第四小隊長在ス
 3. 五月十日中隊ハ松川南側300高地ニ進出シ第三、第四小隊ヲ配置シ同地ヲ確保セリ
 4. 五月十日旅団命令ニ基キ一ヶ小隊(土田隊)ハ旅団砲兵部隊ヲ援護ノ命ヲ受リ同夜棘下ヲ離シ同隊ヲ指揮下ニ入ル
 5. 五月十五日旅団命令ニ依リ亀井曹長ヲ長トス約ニテ分隊ハ軒

函要南西

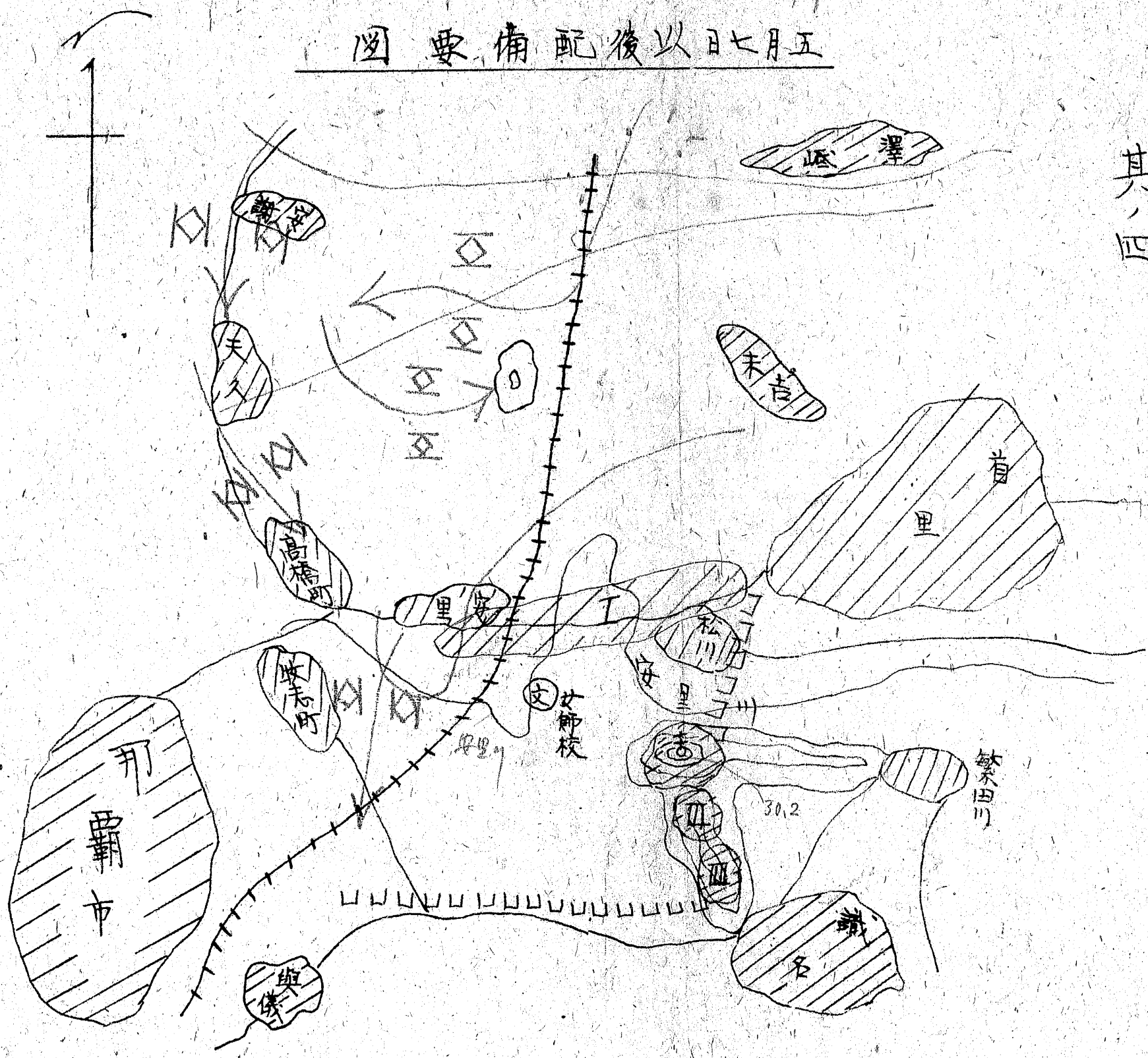


要圖別紙其五
 函要南西

戰術要領

1. 函要要員トシテ独混第五隊ヲ指揮下ニスル
2. 各兵ハ所命ノ配置ニ就テ地形地物ヲ利用シ各個ニ掩壕ヲ掘開シ掩蓋ヲ以テ之ヲ掩ヒ其ノ中ニ潛入シ隱忍戰車ヲ近迫スルヲ待テタルモ好機少ク然モ友軍ノ支援火器意ヲ如クナラス爲ニ敵ノ彈壓ニヨリ逐次其ノ兵カヲ消耗シタリ
3. 敵ノ物量ヲ以テ常ニ巨團的、集中的ニ陸海空協力シテ攻撃セリ
4. 五月二十四日某部隊ヨリ更ニ將校一兵一ヲ名ノ補充ヲ受ケタリ
5. 五月二十五日出崎軍曹、一ヶ分隊ハ湊リ附近ノ橋梁破壊並ニ某部隊通過接護ノ命ニ依リ同日轉進セリ
6. 中隊ハ全カヲ擧ケテ陣地ヲ確保シ拒任地区内ノ敵ヲ攻撃死斗ヲ繰リ返シタリ
7. 五月二十九日識名北側ニテ中隊ハ軍方針ニ從ヒ島尻南部ニ轉進ス
8. 敵ノ攻撃タルモ夜ニ晝夜ノ別ヲ向斷ナキ砲撃ヲ集中射依リ其被撃甚大ナリ中隊ハ本隊ヲ於テ戰力ヲ殆ト半致ラ失ヒタリ

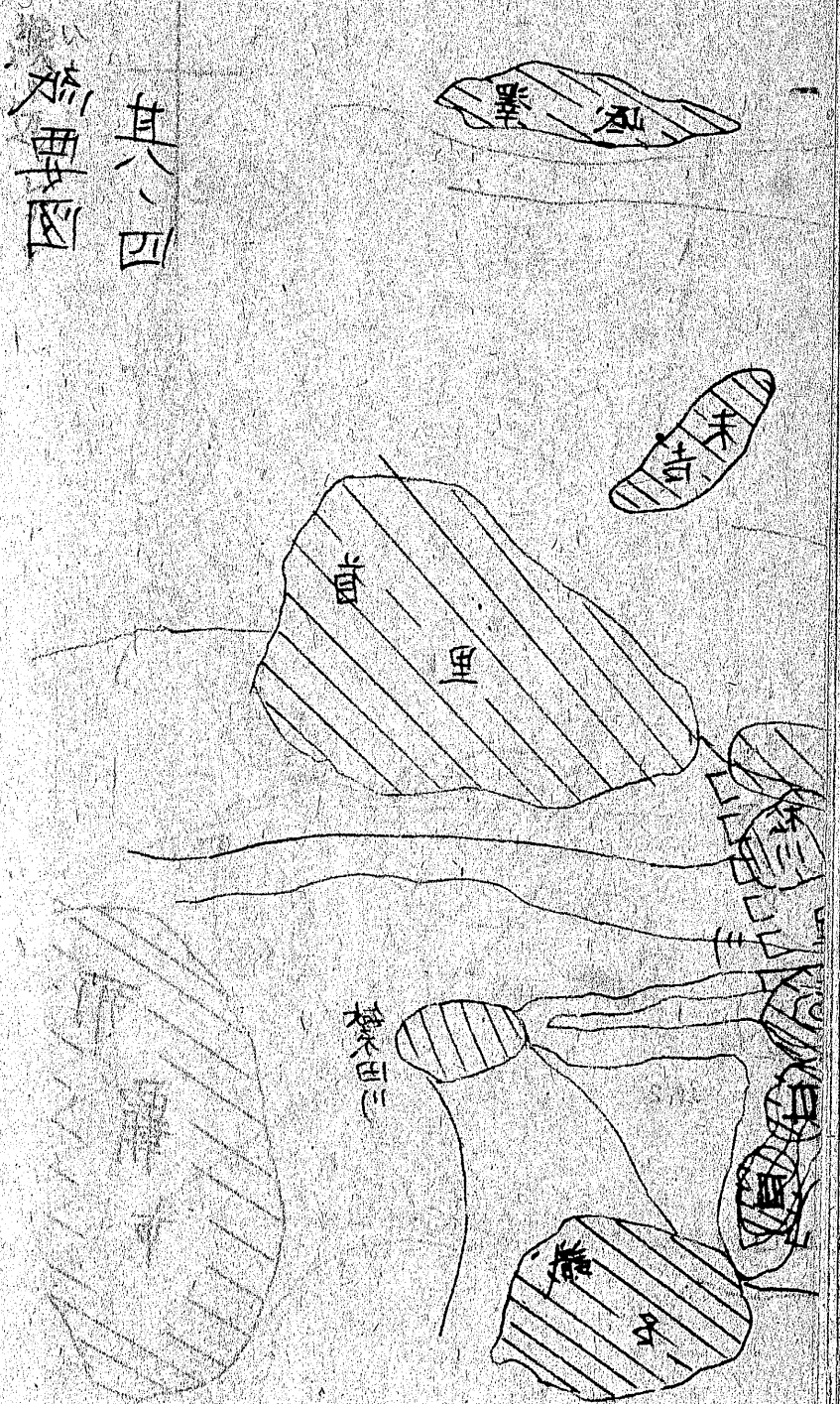
五月七日以後配備要圖



紙要圖
其四

轉進ス
 敵攻撃タルヲ察スニ晝夜ノ別ヲ向断ナキ砲撃ヲ集中射依リ其被撃甚
 大ナリ中隊ハ本隊ヲ於テ戦カシ殆ト半教ヲ失ヒタリ

五月廿日



其四

要圖

五月廿九日 敵は北側より中隊の陣を針と見せ島尻南部へ
 進軍す
 六月一日 敵は中隊の陣を針と見せ島尻南部へ
 進軍す

戦闘経過の概要

自五月三十日 至六月二十日

要圖別紙其五

1. 中隊へ中座ノ西側一帯ニ陣地ヲ確保シ陣地構築戰車障壁設置等戦力ノ
 増強ニ努メタリ
2. 先ニ負傷シ後退セル輕傷將兵ヲ夫々隊ニ復歸セシメタリ
3. 六月四日敵ハ早クモ系敷ヲ奪取シ前川新城ヲ日月シ田原、凌川、具志
 頭ニ進迫ス

4. 六月六日旅団命令ニ依リ混成第十五隊隊ヲ指揮下ニ入ル
5. 六月八日頃ヨリ猛攻ヲ受ケ
6. 六月十三日敵ハ具志頭ニ進出セリ
7. 敵ハ遂次高地方面ヨリ主攻撃ヲ指向シ攻撃ヲ止メタレリ
8. 六月十五日中隊ハ敵ノ重圍下ニ入ル同夜井上隊ハ斬込ヲ敢行シ猛烈